



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

二人が当たり前だと思っていたけど、それも色あせてしまった。君はどっしっているのだらう。

クリスマス
一緒に過ごした
君いずこ

山河水鏡

詠み人解説

松林でキノコとり、不意な物音に「クマか？」とおどろくも、朴葉を踏んだ音とわかりホッとする。(朴葉は大きいのです)

かさこそと
背後の音に
ふり返り
歩み進める

山菜とりのおばさん

詠み人解説

山下達郎「クリスマススイブ」&竹内まりや「すてきなクリスマス」12月は街中のスピーカーを独占。

声ひびく

山下夫婦の
「クリスマス」

さかさかまぼこ

詠み人解説

爪の横から出てくる、やっかいなささくれ。「触らさる」は北海道弁で「触ってしまう」の意味。

ささくれを
無視したくても
触らさる

さかさかまぼこ

詠み人解説

どうしようか迷いこんでいた時こんなことではいけないと自分に気合を入れた。

実行だ
どんな事でも
すぐやろう

K・Y

精神科医 土田正一郎の

その75 記憶力

最近とみに記憶力が落ちてきた。不思議なもので、上手くいったときの記憶は欠落しやすく、ちょっとしたあとと思う記憶は残りやすい。そういうわけでこのコラムに書くこともいい記憶に基づかないことが多いような気がする。そのうちきっと同じことを書いてしまうのだろうとも恐怖している。せめて同じことを何度も聞かされても耐えられるような本質的なものを言及していただきたいものである。



各事業報告～11月末日現在

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

契約/移行1人、B型22人

グループホーム
よろこび

利用者数 21人
(空室1部屋)

K.S.C. Juntos

当事者選手 8人
サポートスタッフ 8人

◆法人会員 正会員19人

賛助会員 団体3団体 個人42人

◆今年度寄付金 のべ11人 519,000円

◆寄付物品 牛乳パック

りんご こんぶ 珈琲豆

編集後記



今年も残すはあと少し。成長するに従い時間が短く感じることを「ジャーネーの法則」というそうです。子ども時代「♪もういくつ寝るとお正月」ほど長く感じたのが、大人になると「もう年末!?年賀状どうしよう!年末調整大変!」と変容します。子どもに戻れなくても、ときめきは忘れたくないですね。よいお年を。(かわさき)

通信 ともに

第92号

2022年12月16日発行
認定NPO法人ともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com>

ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



12月5日 Aさん撮影

雪の帽子とマフラーが素敵な雪だるま
倶知安駅前

コミュニティカフェ
わっくわく

北海道のお墨付き!

「ほっかいどう認証店」に



新型コロナウイルス感染症の「第8波」と言われる今、飲食店は厳しい経営が続いています。そのような中、北海道は道内の飲食店を対象に、感染防止対策の取組を第三者が認証する「飲食店認証制度」への登録を呼びかけています。

当カフェも11月16日に担当者の現地調査があり、その日に認証書の交付を受けました。

写真の認証書はカフェ入口に掲示しています。お客様に安心してご利用いただけるよう、これからも感染防止対策に努めてまいります。

認証必須項目を一部ご紹介

◎滞在時間の制限※や予約制の活用などにより同時に多数の人が集まらないようにする。
※2時間程度を目安

◎店内BGMの音量を低減させ、大声での会話を避けるとともに、お酌や回し飲み、スプーンや箸などの食器の共有や使い回しは避けるように注意喚起を行う。

◎換気を徹底する(中略)

窓の開放による換気の場合は、1時間当たりの換気回数を2回以上確保するため、30分に1回、5分程度、2方向の窓を全開(窓が一つしかない場合は、ドアを開ける)するなどして十分な換気を行う。(後略)

ほか



わたしのお気に入り My favourite things

新コーナーをご紹介します。愛用品、コレクション、趣味などなど、あなたのお気に入りを紹介しします。今回はグループホームを利用されているヒロさんです。



第1回 ヒロさんのバターナイフ

こんにちは、ヒロです。ぼくがパンにマーガリンやジャムを塗るときに愛用しているバターナイフを紹介しします。

今から6年以上前、ネットで手ごろなこのナイフを見つけて買いました。マーガリンやジャムをすくいやすく、塗りやすいので毎日使っています。

最近これを職員に見せたところ「あの柳宗理*がデザインしたナイフじゃない!？」と言われ、有名な人がつくったんだと私もびっくり。ますます好きになりました。

柳宗理の作品にはほかにもマドラーがあるそうなので、今度はそれを買いたいと思っています。



パンを常食にしている人にとって、バターナイフは欠かせない食器の一つ。それが使いやすく、ましてや著名なデザイナーが手がけたものとわかると、ますます愛着がわきますねえ～。

この柳宗理デザインの品が、なんと当法人の事務室にもあったのです！柳宗理ファンの職員が発見しました。

いただきものの鏡ですが、シンプルかつ鏡面もきれいなデザインに、改めてうなった編集者でした。



*柳宗理(1915-2011) 産業デザイナー
調理器具から札幌オリンピック(1972)の聖火台に至るまで、さまざまな産業デザインを残している。現在はその理念を「YANAGI DESIGN」が引き継いでいる(公式サイトより抜粋)。

新型コロナ 予防対策 COVID-19 集中的な抗原検査を実施中

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大を受け、道は厚生労働省の通知にもとづき、「高齢者施設等の従事者に対する集中的検査実施計画」を発表しました。11月中旬から来年1月下旬までの11週間毎週全職員が抗原検査を行うよう、必要なキット数の配布がありました。

感染力が強い新型コロナには、早期発見早期隔離(自宅待機)が重要です。検査キット代がかさんでいた事業所にとって、この取り組みは大歓迎です！



グループホーム よるこび

G H学会全国大会 オンライン開催

11月7日に開催された「第18回日本グループホーム学会 オンライン全国大会」を管理者のちばが動画視聴で参加しました。その感想です。



日本グループホーム学会
オンライン全国大会

テーマ：
「日本で障害のある人の権利は守られているか～住まいの在り方を考える～」

11月7日～12月19日
(オンデマンド動画配信)

最近テレビ番組の嗜好の変化があり、自然を題材とした番組を中心に観るようになった。ある日、アラスカのトナカイが群れて大移動するという回を観た。

自然の中で生き抜く動物たちの行動には、周りの自然を維持するための目的もある。トナカイは周りの自然に助けられ、また助けながら生きている。人間も生きていくための行動には、何らかの意味や意図が隠されている気がする。

グループホーム学会全国大会のなかで、行動障がいのある男性が自宅からグループホームに住むようになり、その生活に慣れていくまでの記録映像があった。それを観た時、人間の可能性に対する私自身の想像力の低さを自覚した。

「その人らしく生きる」とは、「そのままの自分を受け入れて！」という叫びに感じた。私たちが自分の個性を尊重してほしいと思うのと同じく、障がいの有無にかかわらず、みんなも「個性」を受け入れ認めてほしいと思っていることに気づかされた。

個性とは本人はもちろんのこと、周りの人々がその人を生き生きと伸ばしていくことではないだろうか。生活する人々の理解しようとする気持ちや、知識に基づく想像力や機転が影響しているのではないだろうか。

動物には言葉はないが、最小限の意思疎通の手段を持ち合わせている。一方人間の意思疎通の手段は無限な気がする。まずは「相手をわかろう」という気持ちが必要不可欠な気がした。(ちば)

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

外出レク「そうだ、足湯に行こう！」

11月25日金曜日、製造部利用者4人職員2人で伊達市と洞爺湖に出かけてきました。

この日の行程は、①「しまむら」で買い物 ②市内の「喫茶 花梨」で昼食 ③洞爺湖へ行き足湯を楽しむ、というものでした。今までコロナ禍で遠出ができなかったため、久しぶりのレクとなり利用者さんも楽しみにしていたようです。

洞爺湖にある足湯は「洞龍の湯」という名で、共同駐車場から歩いて5分程度のところにあります。遊歩道沿いにあり、無料で入ることができます。

この日は好天に恵まれ、湖の中央にある「中島」がはっきりと観られました(写真)。20分少々の滞在時間で身も心もリフレッシュしたような気がします。

(かわむら)

